

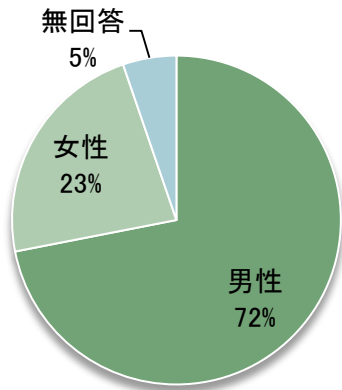
JAXA タウンミーティング in 藤枝 開催報告

平成 27 年 12 月 26 日、JAXA タウンミーティング in 藤枝 “藤枝で宇宙航空開発技術を語ろう” を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいる災害救援活動への航空機や人工衛星を使った支援システムの研究開発や、「きぼう」日本実験棟の利用について話題をお伝えし、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

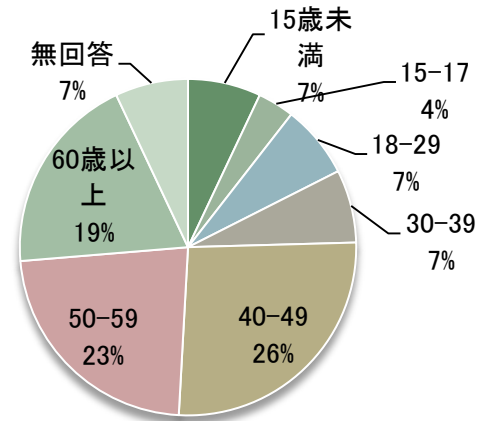
- 開催日時 平成 27 年 12 月 26 日（土） 13:00～15:00
- 会場 藤枝市生涯学習センター ホール
- 参加者数 140 人
- 登壇者
 - ・ JAXA 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター 計画マネージャ 山口 孝夫
話題：「油井亀美也宇宙飛行士の活躍－宇宙実験の新たな挑戦－」
 - ・ JAXA 航空技術部門 航空技術実証研究開発ユニット 主任研究員 小林 啓二
話題：「より積極的な救援活動の実現に向けて－宇宙と航空の連携－」
- 進行コーディネーター
JAXA 広報部 部長 上垣内 茂樹

アンケート回答者の属性（有効回答数：57）

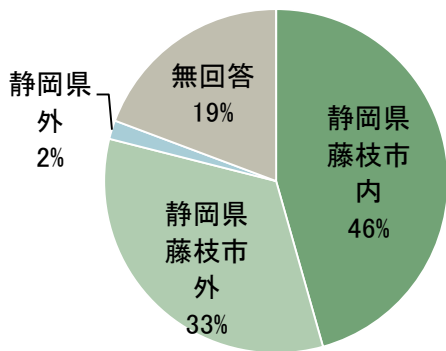
1. 性別



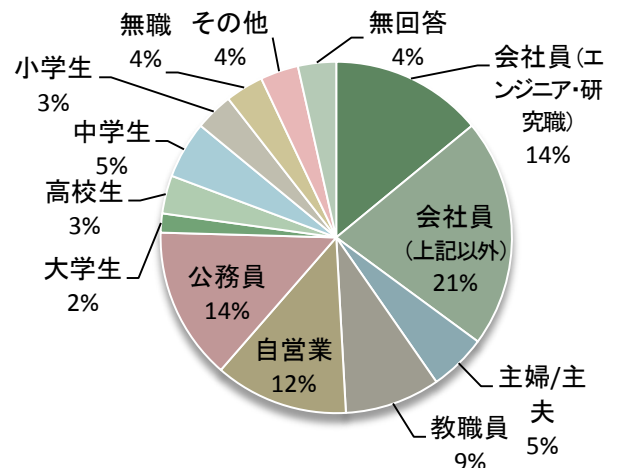
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇「油井亀美也宇宙飛行士の活躍－宇宙実験の新たな挑戦－」

- ・ 宇宙開発技術がいかに大事かを映画やドラマを使うなど工夫してもっと発信してほしい。
- ・ ISS や衛星から送られてくるデータをオープンにして国民が利用できるようにしてほしい。
- ・ JAXA が素粒子実験にも取り組んでいることを初めて知りました。地上で行う加速器を使った素粒子実験とのすみわけははっきりしてほしい。

◇「日本は宇宙探査にどのように取り組むべきと思いますか？」

- ・ 技術立国日本と思っておりますので、民間企業と上手く手を繋げば予算も多くなり、開発資金や技術者の確保が出来ると思います。
- ・ もっと積極的に取り組むべき。予算を増やすべき。
- ・ 国際競争力を確保する為に推進すべきである。但し、研究者の探究心を満足するだけの研究では困ります。
- ・ 国家予算は厳しい状況ではありますが、単に日本の為でなく、全世界のために貢献すべきだと思います。以前、留学中に宇宙開発の話題となり、他国の人から宇宙開発は全ての国が出来る訳ではない。日本は上記の主旨から、宇宙開発をしていく義務があるとまで言われました。
- ・ サンプルリターンのような日本独自の技術を発展させ、他に類を見ないような探査、成果をあげていただきたい。

◇「より積極的な救援活動の実現に向けて－宇宙と航空の連携－」

- ・ 各省庁でいろんなシステムを作るが、横につながりがないように感じる。SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の中で色々なデータを組み込み、システムを一本化した方が良いものが安くできるのではないかな。
- ・ 運用開始予定時期を待つのではなく、使える技術は出来上がった段階でどんどん運用してほしい。
- ・ 実際に運用が進んでいることも紹介してほしい。
- ・ 技術開発も必要ですが、どんな開発をしているのか、国民への情報出しも必要だと思う。今現在何を開発をしているのか今回初めて知りました。
- ・ 防災科学技術研究所のシンポジウムに参加した時、一般の方(自治会)から研究者は自分の研究に一生懸命だが、市民には何のメリットもないではないかとのお叱りの意見もありました。
- ・ 航空機について研究開発している事をもっと PR すべきかと思います。予算確保の為に広く知られる必要がある。
- ・ D-NET は民間企業との共同研究にすればもっと開発ペースが上がると思います。

「どんな航空機の技術開発が必要だと思いますか？」

- ・ 夜間、悪天候の中でも活動が出来るような機体
- ・ 無人機の管理(法整備も含めて)が必要になってくると思います。
- ・ D-NET2 期待してます。頑張ってください。
- ・ 運用の支援事業を強化すべき。ソフト面の拡充が必要だと感じました。
- ・ 安全であること、水平維持がより正確に保たれること(風、雨にも対応できる)。コストがかからないもの(再利用、部品交換が可能であること)。採算の取れるものに(最終的)
- ・ 超音速機
- ・ 環境を汚染しない航空機→電気飛行機、燃料電池航空機
- ・ 災害時により効率的に救助が行える技術開発をお願いします。救助のための人員が不足する中でもよりよく動けるようなもの等。
- ・ 省エネルギー、音、航続距離の優れたもの。

■タウンミーティング、その他について

- ・ 宇宙ゴミ(デブリ)をなくす取り組みをすべきだと思います。
- ・ 運用期間が長くソフトのバージョンアップでフレキシブルに使える衛星を開発してほしい。
- ・ 省庁間の無駄は省いてほしい。
- ・ このような機会をもっとつくって下さい。
- ・ 地方と JAXA の繋がりを如何に強化していけるかに心を配ってください。軌道上の活動する宇宙機の開発をリードしていただきたい。
- ・ JAXA の活動をもっと世の中に知らしめてほしいと思います。今回のような会を行い、第三者(参加者など)が発信することも小さいながらも効果的と思いました。
- ・ 市民に明るく、いきいきとわかりやすく JAXA の活動を広報するというスタンスがもう少し欲しかったと思う。
- ・ 今後も同様のイベントがあれば積極的に参加したい。

